



戦後80年のあゆみ

日本の終戦から今年で80年が経過しました。戦時から現在までの間、私たちの暮らしに大きく影響を与えた出来事などを歴史資料などから振り返ります。

問合せ先 総務課市史資料室（北村支所内） ☎ 56-2001

第6回 戦争の苦難に耐え社会的に貢献した婦人会

厳しい自然と闘う明治の開拓期には、妊産婦は出産当日まで働き、産後回復しないまま働く毎日でした。妊産婦と乳幼児の死亡率が非常に高かったため、明治35年に山口摩津與らが設立した岩見沢婦人会は、乳幼児の健康相談や育児指導などに取り組みました。栗沢では、家庭内に閉じ込められがちな農村婦人の生活改善や知識技能の向上などを目的に、明治43年に砺波婦人会が結成されました。また、北村でも大正5年に設立された北村信用組が農閑期を利用した女子青年教育に当たり、後に北村牧場などの茶の間を利用した料理や服飾などを楽しむ場にも発展しました。母子に必要とされる健康管理など、女性が当時置かれていた境遇に寄り添った岩見沢婦人会は、15年余り募金活動を続け、昭和7年に岩見沢婦人会館を建設して広く町民に開放し、会館には昭和10年に洋裁学校も開校しました。

一方、日露戦争後、軍人遺族の援護と傷病兵の救済などを目的に発足した愛国婦人会北海道支部は、昭和3年に栗沢村清真布で道内初の季節保育所を開所したと伝えられています。栗沢では、昭和9年に各地の婦人会を統合して栗沢村婦人会が発足し、後に国防婦人会として受け継がれました。昭和12年から中国大陸で戦争が拡大すると、婦人会は青年団らとともに応召兵の歓送、戦地に届ける慰問袋の作成、応召兵家庭への勤労奉仕などに当たりました。戦地で慰問品を受け取った将兵は「村の状況を幾多詳細に知らせてくれて肉親にも及ばぬ親切と真心に言葉もない」などと便りを残しており、女性や子どもたちの純真な態度や心遣いは、戦地で追いつめられる毎日の中の喜びや励みとなりました。昭和16年にアジア太平洋戦争が始まると、各地の愛国婦人会や国防婦人会などは大日本婦人会として統合され、町内会や部落会とともに勤労奉仕に当たるほか、援農団体の受け入れや傷痍軍人の慰問など多忙を極めました。

戦争の苦難に耐え社会的に貢献した婦人会は、戦後の民主化に伴い会の立て直しに動き、昭和22年に上幌向更生婦人会が、昭和20年代半ば以降は北村・栗沢の各地域に婦人会が新たに誕生しました。

岩見沢婦人会館に開校した昭和洋裁女学院（昭和10年ごろ）



広報クイズ

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

問題 認知症になってからも、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる新しい□□□□という考え方が大切です。□に当てはまる言葉をお答えください

応募方法 はがき、市ホームページのフォーム、ファックス(0126-23-7731)、Eメール(pr@city.iwamizawa.lg.jp)で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。8月号の正解は**魅力**でした



締め切り 9月22日(月) (必着)

人の動き

住民基本台帳（令和7年7月31日現在）

| | | | |
|-----|----|----------|------------|
| 人 | 男 | 34,165人 | (前月比 - 34) |
| | 女 | 39,074人 | (前月比 - 39) |
| | 総数 | 73,239人 | (前月比 - 73) |
| 世帯数 | | 40,254世帯 | (前月比 - 1) |

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977

ホームページ <https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/>



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram



LINE

広告

広告募集中

広報いわみざわに広告を掲載しませんか

募集枠数 各号2枠（申し込み多数の場合は抽選）

掲載料 各号1枠22,000円

申込期限 掲載希望号の3カ月前の月末（12月号に掲載希望の場合は9月30日(火)までに申し込み）

申込方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください



ID: 14518



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この広報紙は道産間伐材配合紙を使用しています。